

受験意志強くなった！



7月10日(土)広報センター信濃(松本)において、11日(日)自衛隊広報ルーム(長野)において、高校生など計11名に対して航空学生制度説明会を実施した。説明会では、航空自衛隊第5航空団飛行群第305飛行隊でF15J戦闘機のパイロットとして勤務する長野県出身の中塚2等空尉をパイロットリクルータとして迎え、航空学生の概要、パイロットのキャリアプラン、航空学生採用制度の概要などについて経験談を踏まえ説明を行った。参加者は現役パイロットの説明を熱心に聞き、質疑応答では「戦闘機パイロットは定年までずっと戦闘機に乗ってられるのですか。」「空を飛んでいるときに驚いたことはありますか。」「パイロットの手当てはどのくらいですか。」「女性のパイロットの比率はどのくらいですか。」「などの質問が多数あり、その質問一つ一つに中塚2等空尉が丁寧に答える場面が見られ、参加者のパイロットへの意気込みの高さがうかがえた。予定していた説明時間を大幅に上回る説明会となり、参加者は十分に「航空学生の魅力」「パイロットのやりがい」を理解して説明会を終了した。

雷
らい
ち
よう
鳥



本部長
統率方針

任務の完遂

本部長
要望事項

・地域との連携
・信頼と絆



募集最盛期

志願者獲得に向け全速力！

7月7日(水)東海大学付属諏訪高校において、2年生33名及び3年生7名に対して、公安系公務員説明会を実施した。茅野地域事務所は近年、地域の茅野警察署及び諏訪広域消防本部と良好な関係を構築していることから、毎年7月に東海大学付属諏訪高校における公安系公務員説明会の開催が実現している。消防、警察、自衛隊の順に全般説明を実施した後、1・2年生と3年生に分かれ、希望する公務員の採用制度やキャリアプランなどの説明を行った。目的が明確で公務員への就職を希望している学生や、まだ進路に迷っている学生など様々で、人生相談を交えながらの説明会となった。今回の説明会では、高校生に年齢が近く、航空自衛隊小松基地から同事務所に臨時勤務中の柳沢空士長が経験談を踏まえ説明することで、親近感を与え、志願欲の向上につながった。



新着任者挨拶

援護課
 援護センター長
 兼松本援護室長
 1等陸尉 前田 昌儀
 第12旅団司令部 (相馬原) より



転入者紹介

募集課 広報係
 2等陸曹 片桐 健太
 東部方面総監部付隊 (朝霞) より



援護課 予備自衛官係
 2等陸曹 加賀美 公久
 第13普通科連隊 (松本) より



松本地域事務所 広報官
 3等陸曹 山本 慎太郎
 第306施設隊 (松本) より



転出者紹介

援護課 援護センター長
 兼松本援護室長
 2等陸尉 宮内 明寛
 松本駐屯地業務隊へ

募集課 広報係
 1等陸曹 手塚 道夫
 第13普通科連隊へ

援護課 予備自衛官係
 1等陸曹 外谷 佐衣子
 第13普通科連隊へ



令和3年8月1日付で援護センター長兼ねて松本援護室長として着任しました前田1尉です。前職は第12旅団司令部総務課で勤務していました。出身は北海道です。地本勤務については、陸曹時代に東京地本で広報官を経験させていただきましたので、募集業務は理解してはいますが、援護業務については今回が初めてになるので、援護業務を勉強しながら、一日でも早く戦力になれるよう頑張ります。

また、退職予定者に対する再就職及び生活基盤の確保のための支援に尽力するとともに、長野地本の任務完遂に貢献できるよう頑張りますので、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いたします。

～肌で感じる自衛隊～

護衛艦「せんだい」見学

7月11日(日)新潟県直江津港において募集対象者等19名を引率して護衛艦「せんだい」の艦艇広報を実施したほか、高田駐屯地所属部隊による81式自走架柱橋、73式小型トラック、オートバイ(偵察用)の展示や同駐屯地所属音楽クラブによる音楽演奏も行われた。当日は生憎の雨模様であったが、参加者は「普段見ることができない艦橋の見学ができて感動した。」「乗組員の方の説明が分かりやすく、面白かった。」などの声が聞かれた。



体験搭乗 CH-47JA 見学

6月26日(土)相馬原駐屯地飛行場において募集対象者等33名を引率して大型輸送ヘリコプターCH-47JAの体験搭乗などを実施した。今回の体験搭乗に併せて、相馬原駐屯地の所在部隊である第12ヘリコプター隊、第12偵察隊、第12高射特科中隊及び第12化学防護隊の協力を得て、救難消防車、偵察警戒車、軽装甲機動車、偵察バイク、アクセスノード、化学防護車、近SAM短SAMと多数の車両を展示し、参加者らは普段見ることのできない車両見学と各部隊の隊員による説明に聞き入っていた。

体験搭乗では、第12ヘリコプター隊の隊員による安全説明の後、3個グループに分かれて搭乗し、梅雨時期にも関わらず雲は高く降雨もなかったことから参加者らは関東平野の景色を眺めながら約10分間の飛行を楽しみ、自衛隊に対する理解を深めた。

